

当面する課題を問う



質問者
小澤 啓司 議員



町民文化センター

① 「文化センターあり
財政の立て直しと活
性化が大きな課題になっ
ているので、下記につき
質問する。」

「方検討会」の報告書によれば、大枠は現状維持としている。大ホールの縮小改修や町民利用を高める公民館施設や、図書館機能の拡充などどのように進めるのか。また、民間委託の手法を取り入れる考えはないか。

② 松田小学校は、築39年が経過し補修費用がかさみ続けている。7年後を待たずに、減築工法による大規模改修も一案と考えるが、どうか。

③ 桜まつりの来場者が年々減少している。観光客を誘致するためにも、松田山南斜面の観光化が必要と思われる。特に、橋倉地区や松田城址跡地・前田屋外美術館建設予定地跡などの整備について、所信を伺いたい。

A

**経費削減を
図りながら
町民福祉の
向上に努める**

回答 (町長)

① 大ホールは舞台技術者委託を改め、必要な時に依頼するなど、大幅な経費の削減に努める。公民館機能については、生涯学習センターの窓口を開設し、広く町民利用の拡大を図る。図書館利用を促進するために、本の閲覧や貸出・返却方法を

定住化促進のまちづくりを



質問者
寺嶋 正 議員

町長は臨時議会の行政報告で、初めての所信表明を行った。「安心・安全・住みやすい町」、「子育て

改善を検討する。運営は民間委託とし、「指定管理者制度を導入できるよ」努力する。

② 松田小学校は、平成32年に建て替え予定があるが、財政が厳しい中で耐震化・長寿命化策として、減築工法も視野に入れ検討する。

③ 松田山南斜面の観光化は、地域にあった農産物や特産品開発を視点に、関係団体と活性化に向けた取り組みを考える。最明寺史跡公園と前田屋外美術館建設予定地跡は、自然に親しむ憩いの場として維持・管理を進める。

あげているが、優先順位はどうするのか。どこまで、カタチにするのか。子育て世代支援、定住化対策の関連で、現在の事業は確実に継続するべきだ。特に、子育て世代を対象とした町営住宅の建設等も視野に入れるべきだ。

A

**子育て世代等の
支援策を
充実したい**

回答 (町長)

地方交付税に頼りすぎた自治体からの脱却を目指すとは、どういうことか。地方交付税は地方の財源を保障するためのものなので、しっかり確保するべきだ。

子育て世代支援等については、学生の通学定期券の助成、小児医療費助成の中学修了前まで、給



写真は町地域公共交通会議会長古館氏のバス

健全な財政運営をさらに推し進め、計画段階で投資効果や規模を十分に検討し、優先順位を見極めた財政運営を行っていることを目標とする。

地方交付税については、その目的・機能である「地方の財源保障」を否定、拒むものではない。松田町の財政は、地方交付税なしでは考えられない」と、認識している。